

令和 7 年 1 2 月 1 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 小林 園以

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 稲田市政 2 期目の決意とみつけの未来の景色

答弁を求める者 市長

稲田市政の 2 期目がスタート致します。

稲田市長は、今回の選挙において、前回の「若い力」から「全力投球」に変わり、スローガンは「暮らし満足 No.1 のまち」の前に、「みんなでつくろう！」が加わりました。また 2 期目は「今まで種まき準備期間で整理してきたものを着実に実行に移していく」と仰っていました。

そこで、今回の節目で整理されたことや、これからのみつけの未来をどのように描いておられるのか、お伺いします。

1 これまでとこれからの 4 年間について

(1) これまでの 4 年間の「成果を 4 つ」端的にお聞かせください。

(2) これからの 4 年間の「目標を 4 つ」わかりやすくお示してください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウエ



- (3) これまでの4年間と今後の4年間で見附市にどれだけのベネフィット（利益）があるのか、主観ではなく数字で表せるものや、コストに対しての利益の分析が出せるようであれば教えてください。

2 稲田市長の選挙運動用ビラにある「4つの約束」（※資料1参照）は、来年度から施行される市の最上位計画である第6次見附市総合計画（前期基本計画）の「4つの基本目標」そのものであります。

4つの基本目標の中には、基本施策が4～5項目、更にその中に主要施策が細かく掲げられています。その主要施策の中で、日頃、市民の皆様から頂いているお声に該当する事項について幾つかお尋ねします。

- (1) 市長の4つの約束の〈3・2つ目〉「持続可能な雪対策の充実」について

ア かねてより各コミュニティに貸与している家庭用除雪機の活用状況を、次の項目別にお聞かせください。

- ・貸与場所と各台数
- ・貸与した後の保守管理は誰がどのようにしているか
- ・活用状況または稼働率

イ 同じ市道でも中大型除雪機では入ったらターン出来ない市道もあります。市道・歩道（通学路）の除雪と安全確保について、現状と課題を伺います。

ウ 市が保有する小型除雪機の台数と充足率などの現状を伺います。

(2) 市長の4つの約束〈1・2つ目〉「企業誘致環境・体制強化」とは、具体的にどのような活動や体制を言うのでしょうか。

(3) 市長の4つの約束〈1・3つ目〉「市街地周辺の宅地化」について、今、市長が計画されている場所、それにより変わっていくであろう見附の未来の景色は、どんなイメージを描かれているのか、お聞かせください。

みんなでつくろう！
暮らし満足No.1のまちを

見附市長候補

稲田
いなり
なよ
だう
亮

実績を未来につなぐ。

誰もが「このまちで暮らせてうれしい」と実感でき、自然と笑顔があふれる。
そんな「魅力あふれる見附の未来」を、市民の皆さんとともにつくっていきます。

守ります！
4つの約束

1. 活力とにぎわいあふれるまちにします。

- ・リターンなどの移住や関係人口づくりを戦略的に、人口減少対策をより一層進めます。
- ・稼げる農業・商工業へ人材確保・チャレンジ・連携の支援や、企業誘致環境・体制強化を進めます。
- ・市街地周辺の宅地化や、見附駅周辺地域など拠点地域への民間投資誘導に取り組みます。
- ・通学を含む子どもや高齢者などの交通手段について、あらゆる方法の結集で充実を目指します。
- ・地域コミュニティや市民活動などを支えるとともに連携を促し、地域の活力につなげます。

2. 未来を担う人を育むまちにします。

- ・子どもを第一に小中学校の再編を着実に進め、体育館や特別教室の空調など環境整備を図ります。
- ・未来につながる「JOB チャレ教育」の充実や、スポーツ・文化活動などの選択肢確保を図ります。
- ・子育て世帯の負担軽減や、働きながら育てられる環境づくりをより一層進めます。
- ・道の駅への大型遊具設置など、子どもや若者の声を踏まえた魅力の創出や誘致を進めます。
- ・若者による地域づくりのチャレンジや、市内高校の魅力づくりを後押しします。

3. 安心していきいき暮らせるまちにします。

- ・実態に即した訓練実施や情報発信など、自助・共助・公助による災害時対応能力を一層強化します。
- ・施設の耐震化や水害・老朽化・空き家対策を進めるほか、持続可能な雪対策の充実を図ります。
- ・診療所の誘致や市立病院の医師確保などにより地域医療の維持・充実を図ります。
- ・「障がいや理由とする差別のない誰もが共に暮らせるまちづくり条例」に基づく啓発や環境づくりを進めます。
- ・高齢者の社会参加機会の維持・充実や、認知症になっても共生できる社会の実現を目指します。

4. 未来に向けた持続可能な市政運営を進めます。

- ・AIなどのDXをフル活用し、市民生活の向上や業務の効率化につなげます。
- ・市の収入増に向けてふるさと納税などの強化をさらに進め、産業振興にもつなげます。
- ・施設と運営両面から公共施設の最適化を進め、財政体質の改善と魅力維持向上の両立を目指します。

証紙